

## 淡路島でアカマダラコガネを採集

久保 弘幸

筆者は、本年8月31日に、淡路市志筑東ヶ丘においてアカマダラコガネ (*Poecilphilides rusticola*) を確認、採集する機会を得たので、ここに紹介しておく。

当日の天候は晴れ時々曇り、最高気温は32℃ほどであった。筆者は、樹液に集まる昆虫を観察する目的で、上記の地区を探索していた際、アカマダラコガネを発見したものである。発見場所は、丘陵が開析された浅い谷である。谷部中央は水田となっており、その周辺は畑地ないし雑木林であるが、アカマダラコガネを発見したのは、畑地の縁辺に多数植栽されたクヌギの若木であった。この若木の幹からは樹液が滲出しており、アカマダラコガネは単独で樹液を吸っていた。他の甲虫類は見られなかった。

アカマダラコガネは、近年、猛禽類や大型鳥類の巣内で確認される事例が増加している。兵庫県では、2009年に豊岡市にある人工巣塔上のコウノトリの巣内から発見されて話題を呼んだ。しかしながら、兵庫県の2012年版レッドデータリスト(昆虫)では、依然としてAランクに位置づけられる稀少種である。兵庫県レッドデータリストによれば、淡路島における採集例はあるようだが、採集地が明確ではないようである。

なお、採集場所の位置は、北緯34度26分21秒、東経134度53分12秒、標高約20mである。また採集した個体は、現在も筆者が飼育中である。

(Hiroyuki KUBO 兵庫県明石市)